消化器外科

診療内容・専門分野

現在８名のスタッフで診療にあったっています。上部消化管、下部消化管、肝胆膵、乳腺、甲状腺の疾患について診療しています。外来では各医師の枠に加え、乳腺専門外来、緩和ケア外来を開設しています。

症例の治療方針について、内科外科合同の術前症例検討会で決定し、術後症例検討会でその経過を報告しています。

手術は低侵襲を目指すべく、鏡視下手術を積極的に行っています。令和 7 年度には手術支援ロボット（hinotori）が導入され、低侵襲かつより精緻な手術手技が可能となってきました。胃癌、大腸癌の症例で施行しています。また、周術期管理を充実させ、生活の質を落とさぬように努力し、患者様の納得いく診療を心がけております。

ご紹介いただいた患者様に対しては、医療情報の行き来をスムーズにし、密な連携を構築していきたいと考えています。

ご紹介いただくにあたって

消化器疾患は基本的に消化器内科へご紹介ください。検査により手術が必要となる疾患であれば、先に述べた症例検討会で消化器外科へ紹介されます。鼠径部のヘルニア、肛門疾患は直接消化器外科への紹介で結構です。また癌性疼痛のコントロール、帯状疱疹後疼痛などは緩和ケア外来にご紹介ください。